

# 年報 さわらび 2013

さわらび保育園年報 第3号  
 2013年(平成25年)7月 発行  
 発行/編集  
 社会福祉法人 輔仁会 さわらび保育園  
 〒813-0031福岡市東区八田4-6-5  
 [TEL] 092-671-1881 [FAX] 092-671-1763  
 [E-mail] sawarabi@suo.bbq.jp  
 [HP] http://www.hojinkai.ed.jp/sawarabi/

## 保育の新制度と成長戦略と既得権益!!

理事長/統括園長 大浦純平

も子育て支援事業計画を策定するためのニーズ調査が実施されることになっていきます。今後は、福岡市や新宮町の保育に対する理念が重要になります。

一方で四月十九日に安倍首相が、アベノミクスの三本の矢の最後となる「成長戦略」の考え方を明らかにしました。その中で、女性が輝く日本とのテーマで急速な少子高齢化で先細る労働力の一翼を女性たちに担ってもらおうと、女性の活用を柱にした戦略も盛り込まれ、具体策として「待機児童ゼロ」と「三年間の育児休業」などを挙げました。

「待機児童ゼロ」については、かつて待機児童が多かった横浜市を例に出し、株式会社等に保育園を作らせ急激に待機児童を減少させた成果を他都市にも見習ってもらいたいとの趣旨を述べました。このことは政府の規制改革会議が待機児童解消を目的に認可保育園の面積や保育士配置の基準を緩和し受け入れ数を増やそうとしている経済優先策の後押しになっていることは間違いなくでしょう。

次に、三年間の育児休業について、西日本新聞四月二十八日の朝刊には「よつなコラム」がありました。『よつな』でも、国民には人気がないようです。

その国民会議での議論の行方には「保護者の負担が増えるのでは」「保育時間が親の就労時間により細切れになるのでは」「職員給与が保証されなくなるなり、人数を減らさざるを得なくなるのでは」「逆に保育士の人材不足に拍車がかかるのでは」「園舎の修繕や改築の財源をどう確保するのか」などなど心配事が山積しています。

最近になり新システムに反対の声を挙げてきた我々保育団体にに対し、既得権益を守るようにする圧力団体との論調が耳や目に付くようになりました。成長戦略の後押しをする学者、



理事長/統括園長 大浦純平

マスコミの攻勢です。株式会社への参入は手取り早い待機児童解消策だと思っているのでしょうか。利益優先の姿勢が人を育てる事業に向かないことは自明の理です。小泉政権下で学校の株式会社参入を試みたが、やはり「質劣化」で頓挫しています。今でさえ世界的に低レベルと言われている日本の保育・教育の環境基準を経済優先の思想で更に悪くしようという施策には何と云われようかと反対をしていかなければなりません。

三回目の年報をお届けする時期になりました。福岡市の待機児童は増加の一途をたどり福岡市は、現在保育園の新築増員を図っています。待機児童の減少はなかなか解消できない状況にあります。東区内の保育園は分園を含め六月現在四七ヶ園あります。

さわらび保育園は、二五年四月一日児童数二四三名職員五一名で元気にスタートいたしました。新規入園の子どもたちも保育園の環境の中で、友達と給食を食べたり、泥団子づくりや遊具、砂場、保育士との関わり等を通して笑顔で過ごせるようになりました。

子どもたちの中には障がいがあったり発達に気になる児童がいたり一人一人個性があり、発達の違いがあります。そのような中で共に育ちあうことは、いろんな友達がいることを日常の生活や遊びを通して体験し理解を深め、豊かな人間性が培われていくのと思っています。

福岡市の障がい児保育は昭和五八年に指定園制度の中で実施され、平成十四年度から全園で実施されることになりました。四月現在一二四園に障がい児保育対象のあるお父さんが二六九名入園してあります。一人一人の違いがあっても楽しい出会いがあります。どの保護者も子育てに悩み、その人なりに一生懸命です。障がいがあってもなくとも一人一人を大切に尊重し合い、認め合い、しっかりと向き合い、大人も子どもも「共に育ちあう」保育園でありたいと思います。

「ねえ、聞いた？育児休業が3年に延長されるぞよ」「赤ちゃんを3年間抱っこし放題、それか復職できるんだって」

「何だか女は家庭でしつかり子育てしなさい、と言われているみたい」「考え方が古いよねえ。3年休業なら妻が1年半ずつ休める制度にするのが公平でしょ」「そもそもそんなに長く休みたい」「ずっと育児と家事はつきりかたど気がめいりそう」「今、仕事が順調なのよね。中断したくないわ」「1年契約の派遣社員はどうなるの？」「同じ職場の仲間よ」「長く休むと仕事に戻りづらくなるかもね。周囲の目も気になるし。パソコンも新しくなってる、ついていけなくなるし」「休業中は給料が減ったり、無給になったりするんでしょ。それは困るわ。共働きの今でも苦しいのに子供ができての出費も増えるしね」

「会社だって長期休業は困るはずよ。特にうちみたいな中小は」「いっそ女性の採用を減らしちゃえ、とならなにかしら、それって本末転倒」

「休業延長より早く保育所を増やしてくれないかな。預け先がなくて仕事を辞めちゃう人も多いのよ」「早急に退社できる長時間勤務制なんかあると、育児との両立も楽なのに」「理想の家庭像もいろいろ、もっと私たちの声を聞いてほしいわ」

「共に育ちあう」 園長 榎原洋子



保育士になろうと初めて実習に行ったのが、短大一年生の秋(S55)。まさに運動会前の練習や準備の真っ最中の「さわらび保育園」。子ども達は日焼けして元気いっぱい！先生達も入場門づくり、テン飾り作り等々で大忙しの中、実習に入り運動会当日は用具係のお手伝いもしましたがそんな中で実習生を受け入れるのは「大変だっただろうな」と自分が保育士になって実感しました。

一年目、二年目は保育士というより、子ども達と対等に必死に遊んで声の出過ぎで声が出なくなつた事を思い出します。今更ながら「若かったな」と思うと同時に、昔の先生方、保護者の方々そして、子ども達との楽しかった事・悲しかった事・辛かった事・感動した事、様々な思い出と卒園した子ども達が親になり、又子ども達をさわらびに預けるという懐かしい再会が沢山あり、さわらびで働いている喜びを実感する現在です。

長い間さわらび保育園にいると、いろんな事が変わりました。一番大きな事は園長先生です。大浦仁子先生、森部恵美子先生、そして今榎原洋子先生となりました。仁子先生の信念「さわらびは勉強は教えませんが、子どもは遊ぶ事が仕事」と言われ続け、私たちも遊びの中で心も体も育つ子ども達を見て来ました。又、山川先生により運動あそびの中でも沢山の遊び、リズム遊び、遊戯をしながらたくましくなっていく子ども達を見て来て、やはり遊びの中で子ども達は育っていく事がよく分かりました。

沢山の先生方、子ども達との出逢いで今の私がある事に感謝しながら、発達の道筋を大切に、若い先生達と一緒にこれからもさわらびのことに関わっていききたいと思えます。

さわらび保育園と私 保育士 飛来弘子

今年度が始まって二ヶ月が過ぎ、今日もさわらび保育園では元氣な子ども達の声が響いています。今はまだ、朝お母さんから離れると泣いてしまっている子ども達も、一年も経たないうちに元氣な笑い声を響かせるようになっていくことでしょう。

子ども達は保育園でたくさん成長します。「先生あ、ねえ」「お父さん、聞いて！」「お母さん見て！」と、毎日目を輝かせ、新しい発見をしています。

保育園に通っている子ども達は、一生の中で一番急成長する時期です。

仕事に追われ、少しバタバタしている「逆上がり」がもう少しいでせそう！という報告を受けてたり、「LaQでザリガニ作れたよ！」といわれたりと、

今という時間を大切に 平成25年度 父母の会 会長 前田 恵理夏

新年度が始まって二ヶ月が過ぎ、知らないうちに出来る事が増え、今日もさわらび保育園では元氣な子ども達の声が響いています。今はまだ、朝お母さんから離れると泣いてしまっている子ども達も、一年も経たないうちに元氣な笑い声を響かせるようになっていくことでしょう。

子ども達は保育園でたくさん成長します。「先生あ、ねえ」「お父さん、聞いて！」「お母さん見て！」と、毎日目を輝かせ、新しい発見をしています。

保育園に通っている子ども達は、一生の中で一番急成長する時期です。

仕事に追われ、少しバタバタしている「逆上がり」がもう少しいでせそう！という報告を受けてたり、「LaQでザリガニ作れたよ！」といわれたりと、

「共に育ちあう」 園長 榎原洋子

保育士になろうと初めて実習に行ったのが、短大一年生の秋(S55)。まさに運動会前の練習や準備の真っ最中の「さわらび保育園」。子ども達は日焼けして元気いっぱい！先生達も入場門づくり、テン飾り作り等々で大忙しの中、実習に入り運動会当日は用具係のお手伝いもしましたがそんな中で実習生を受け入れるのは「大変だっただろうな」と自分が保育士になって実感しました。

一年目、二年目は保育士というより、子ども達と対等に必死に遊んで声の出過ぎで声が出なくなつた事を思い出します。今更ながら「若かったな」と思うと同時に、昔の先生方、保護者の方々そして、子ども達との楽しかった事・悲しかった事・辛かった事・感動した事、様々な思い出と卒園した子ども達が親になり、又子ども達をさわらびに預けるという懐かしい再会が沢山あり、さわらびで働いている喜びを実感する現在です。

長い間さわらび保育園にいると、いろんな事が変わりました。一番大きな事は園長先生です。大浦仁子先生、森部恵美子先生、そして今榎原洋子先生となりました。仁子先生の信念「さわらびは勉強は教えませんが、子どもは遊ぶ事が仕事」と言われ続け、私たちも遊びの中で心も体も育つ子ども達を見て来ました。又、山川先生により運動あそびの中でも沢山の遊び、リズム遊び、遊戯をしながらたくましくなっていく子ども達を見て来て、やはり遊びの中で子ども達は育っていく事がよく分かりました。

沢山の先生方、子ども達との出逢いで今の私がある事に感謝しながら、発達の道筋を大切に、若い先生達と一緒にこれからもさわらびのことに関わっていききたいと思えます。

さわらび保育園と私 保育士 飛来弘子

平成二十五年 行事	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
はじめての会	1日	13日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
クラス懇談会	6日	8日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
親子歓迎遠足	18日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
園児健康診断	24日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
園児健康診断	8日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
家庭訪問	13日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
園児健康診断	8日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
観劇会	10日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
歯科検診	23日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
一日保育士月間	5日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
芋苗植え	5日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
体力測定(3日間)	10日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
親子保育	15日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
救急救命講習	22日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
七夕会	5日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
青組キャンプ	6日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
さわらび夏祭り	7日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
交通安全教室	25日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
香椎宮夏祭り	3日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
運動会	13日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
園児健康診断	23日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
三日月山・立花山登山	24日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
観劇会	29日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
ミニファイヤースクール	30日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
一日保育士月間	6日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
芋掘り	6日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
園児健康診断	6日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
たからもの展	7日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
体力測定(3日間)	9日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
落ち葉拾い遠足	12日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
合同音楽祭	15日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
於 そびあしんぐう	19日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
スケート指導	20日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
クリスマス会	21日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
もちつき	21日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
七草会	7日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
鏡開き・どんど焼き	10日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
クラス懇談会	11日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
年少発表会	25日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
クラス記念撮影	30日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
豆まき	3日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
さわらび発表会	8日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
ひなまつり会	3日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
お別れ会	4日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
入園説明会	14日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
お別れ遠足	22日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
卒園式	25日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日
入園式	25日	24日	10日	5日	3日	2日	23日	11日	8日	7日	3日	3日

# さわらびキャンプ

さわらび保育園では、毎年五歳児がキャンプを行っています。参加するのは職員とお手伝いのお父さん方です。以前は海に行っていて、砂浜の上でスイカ割りをして海を見ながら食べ、磯遊びでは、エビ・かにを捕まえてたりして楽しんでいました。危険な箇所にお父さん方によって頂き実際に海に入って泳いだり潜ったりと海を満喫しました。夜は蚊帳を張り、蚊が入らないようにそいつと入り眠りにつきましました。海のキャンプでも沢山の経験をしてきました。平成十六年度より山に行くようになりました。山ではコテージに泊まり、山を散策。あいにくの雨が黒ビニールのかっぱをかぶって散策したのも良い思い出です。山の朝はひんやり。みんなでラジカセを温まりました。日頃住んでいるところではなかなか見ることができない、珍しい虫を発見したこともありまし



樹芸の森へ山登り

みんなでお昼寝

楽しいクッキング

キャンプファイヤーで、火の神様が登場します。花火の様子

## 観劇会

5月と10月の年2回、観劇会を行っています。主に『劇団 クラルテ』、『劇団 風の子九州』を園内に招いています。費用は父母の会費より出して頂き、毎回子ども達はとも楽しみにしています。日頃から絵本に親しみペープサートや保育士の劇には触れてはいますが、プロの方の劇や人形劇に子ども達は目を輝かせ、思わず大声をあげたり、ちょっと怖い場面になると顔を隠したり、友だち同士顔を見合わせて笑い合ったりなど、いつもとは違ったお話の世界に入っているようです。テレビやDVDでは味わえない感動をこれからも大切にしていきたいです。(荒津)



クラルテ 「おおかみと7匹のこやぎ」



クラルテ 「うりこひめとあまんじゃく」

## ～わらび太鼓～

平成8年度に地域との交流の一環として発足しました。園歌にありますように「わらび」の赤ちゃんを「さわらび」と呼びます。わらび太鼓は、さわらび保育園を卒園した小中学生(わらび)を中心に毎月1回さわらび夏祭り(7月)、香椎宮夏祭り(8月)への参加に向けて練習や時にはゲーム大会などをしながら活動しています。平成10年から「邦楽のつどい」という和楽器だけの演奏会にも出演し、他の小中学生の活躍を見て、刺激を受けました。今年度からは1月に「新春わらび会」を催し、太鼓演奏の他かくし芸大会で盛り上がりとう計画中です。近年は卒園児が「学校の友達を連れてきていい？」在園児のお姉ちゃんがお迎えで見かけた太鼓に興味を持って…と卒園児以外のメンバーも増えてきています。年頃の子も達。照れ隠しで素直になれないことも、大人に反発することも多々あります。太鼓を叩くだけでなく、幅広い年齢の子も達との触れ合いの中で兄弟・姉妹のような関係づくりや、家や学校では言い出せない悩みを聞いてあげる時間も大切なひととき。様々なことにぶつかって成長をしていく姿を支えていくことが地域支援へ繋がればと思います。(小田)



さわらび夏祭り・邦楽のつどいで発表の様子です。

## つぼみぐみ 沐浴室改装

以前の沐浴室・トイレは少々狭く、暗いイメージだったのですが、改装工事が終わりました。明るく、広々とした沐浴室・トイレは、使いやすく、広く換気もした。シャワーの近くにもオムツ交換台があり、衛生的に安全に使用できる造りになって助かっています。オムツ交換も大事なスキンスリップの一つです。新しいトイレでは子どもと一対一でゆっくりスキンケアを取りながら心地よくオムツ替えをする事が出来ます。ガラス張りなので圧迫感がないので、月齢の高い子はトイレに誘いかけるとヨチヨチ歩きながら自ら喜んで来ています。また、着替え入れの棚も使いやすくなり、保護者の方にも喜ばれています。これから暑い季節になるので、沐浴・シャワーも始まり、ますます気持ちよく過ごせるようになると思います。(野田)



## シンボルマーク“スリーベアーズ”が園旗になりました

運動会や園外保育で活躍しています。



平成25年度 職員構成 (6月1日現在51名)		
理事長 大浦 純平		
園長 檜原 洋子		
主任 三笠 良子		
つぼみ組	野田 理奈 田中 麻菜 福山ひとみ 渡辺久美子	小田 里恵 鎌田 眞理 佐藤 由佳
もも組	荒津佐知子 朴木千佳子	山本 紗代 村上 直美
うめ組	小林 千春 重野しのぶ	松本香菜子 前車 智子
ふじ1組	飛来 弘子 岩下 香苗 久保 香織	勝原 輝 佐野美奈子 松田 雄紀
ふじ2組	原口 直美 袴田れい子 今村優己子	楠本 勝馬 池松 順子 齋藤 直美
なのはな組	土谷 賢吾	
たんぼぼ組	指宿 絵里	畠山 美桜
すみれ組	中里麻衣子	安藤 里美
れんげ組	中村 一星	
つくし組	石原 由依	
年長フリー	瀧口 純	古賀 幸子

**編集後記**  
今回で年報第3号が発行されました。年報でお知らせしている、さわらび保育園での色々な活動。今の子ども達の様子やさわらび保育園の取り組みが伝わったかなと思います。(三笠 楠本)

平成24年度 さわらび保育園経理区分 決算状況 (単位 千円)		
【 資金収支計算書 】		
経常活動による収支	運営費収入	200,849
	利用料収入	5,581
	その他の経常活動収入	23,089
	経常収入計 (1)	229,519
	人件費支出	161,820
	事務費支出	14,787
	事業費支出	32,907
	その他の経常活動支出	7,674
	経常支出計 (2)	217,188
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	12,331
施設整備等による収支	施設整備等収入計 (4)	0
	施設整備等支出計 (5)	7,951
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	7,951
財務活動等による収支	財務収入計 (7)	0
	財務支出計 (8)	8,005
	財務活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	8,005
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)	3,625	
前期末支払資金残高 (11)	32,746	
当期末支払資金残高 (10)+(11)	29,121	

【 貸借対照表 】		
資産	流動資産	42,978
	固定資産	223,764
資産の合計		266,742
負債	流動負債	13,857
	固定負債	0
	小計	13,857
純資産	基本金	72,786
	国庫補助金等特別積立金	70,402
	その他の積立金	55,000
	次期繰越活動収支差額	54,697
	小計	252,885
負債及び純資産の合計		266,742

平成25年度 職員構成 (6月1日現在51名)		
理事長 大浦 純平		
園長 檜原 洋子		
主任 三笠 良子		
つぼみ組	野田 理奈 田中 麻菜 福山ひとみ 渡辺久美子	小田 里恵 鎌田 眞理 佐藤 由佳
もも組	荒津佐知子 朴木千佳子	山本 紗代 村上 直美
うめ組	小林 千春 重野しのぶ	松本香菜子 前車 智子
ふじ1組	飛来 弘子 岩下 香苗 久保 香織	勝原 輝 佐野美奈子 松田 雄紀
ふじ2組	原口 直美 袴田れい子 今村優己子	楠本 勝馬 池松 順子 齋藤 直美
なのはな組	土谷 賢吾	
たんぼぼ組	指宿 絵里	畠山 美桜
すみれ組	中里麻衣子	安藤 里美
れんげ組	中村 一星	
つくし組	石原 由依	
年長フリー	瀧口 純	古賀 幸子
栄養士 調理員	西岡 広美 串崎美津代 中村 靖代 清水 妃鶴	渡邊 和 大塚美代子 齋藤 豊子 池田 善子
事務員 用務員 産休 育休	林 美由起 川上 幸子 平河 奈緒子 下川 加南子	鶴岡 優子

## 寄せられた意見・要望の状況

受付年月日	申出者	受付内容	解決結果
H24年08月	5歳児母親	連絡ノートに、子どもが頑張ろう・やろうとしている意欲、気持ちが萎えるような言葉かけをしているのどうか？ということが書いてあった。	懇談を行い十分に話を伺い、全職員で人権に対する研修を行ったこと、子どもや保護者が安心して楽しめる保育をすることを確認し努力していくことを伝えた。
H24年10月	通行人	送迎用駐車場出入口で交通安全指導をしている職員に対して、出勤途中の忙しい時間帯に車を止めてあげているのに挨拶もしない。子どもや保護者には挨拶するのに、これはマナー違反ではないか、という電話が保育	電話で十分話を伺い丁寧にお詫びをする。今後気を付けてもらえばよい、とのことであった。すぐに職員に知らせ車を止めて頂いた方には、感謝の気持ちを表すことを確認する。
H24年12月	5歳児母親	子どもの歯が2本も抜けたことについて、担任から十分な説明や報告はなく、本児や知人からのメールで知ったことについて職員への不快感。	丁寧にお詫びをした上で、当日の様子を担当から詳しく説明して、理解していただいた。また、園内研修課題として何故このような事になったか検証し問題を共有した。